

総合的な学習の時間 文化祭コース別学習

横浜市立日吉台西中学校

単元（題材）目標

- 様々な障がいについて理解を深め、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。
- 手話について学習し、手話で会話をしよう。
- 点字について学習し、点字を打ってみよう。

（1）実施時期

10月初旬から10月末 1時間20分のコース学習×13 当日の発表

（2）対象（学年等・人数）

コース別学習 1年7名 2年6名 3年3名 職員1名
文化祭当日は、来場者100名位

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校職員：2年所属1名

（4）実施内容

- 1 「障がいについて」の学習
- 2 手話とは、点字とは
- 3 班分け 縦割りに3班 班別学習内容の検討 学習計画作成
- 4 手話学習
 - ・簡単な挨拶（あいさつ、自分の名前、班員の名前紹介等）
 - ・手話に関する基本的知識
 - ・指文字による五十音の表し方
- 5 班別学習（3班）

図書室から参考書を集めて、班別に学習を進める。

1班 絵本「トマトさん」を手話に訳し、発表する。

2班 絵本「どろんこハリー」を手話に訳し、発表する。

3班 校歌を手話に訳し、発表する。
- 6 当日の発表

教室に点字の学習ができるように点字機をセット
手話を教えられるように机と椅子を設置
来場者に点字、手話のプリントを配布し教えた。
来場者が集まったところで、各班が発表した。
- 7 振り返り

班ごとに反省会をもち、文化祭のしおりに記入した。



（5）成果

手話に関心を持ち、障がい者への理解を深め、今後に活かしていきたいと感想をもった生徒が多くいた。